

県とも連携し税の滞納解消に努めます

税の滞納処分の取り組みについて

市税の滞納は、市の事業やサービスを実施するうえで大きな障害となります。市では税の公平性確保のため、次のとおり滞納処分を一層強化して取り組みます。

①差し押さえの強化

法律に従い、きちんと差し押さえを実行し換価できるものは換価処分します。また、差押物件が無い場合は納付誓約をしていただき、滞納の解消に努めます。差し押さえは、不動産（土地、建物）に限らず、自動車、そして有価証券や預金、生命保険、給与などさまざまな財産が対象となります。



△「タイヤロック」を使った自動車の差し押さえ

②インターネット公売の拡充

差押物件はインターネット等により公売、換価し、「滞納は許さない」という



△引き続き「インターネット公売」も活用し滞納の解消を目指します。

姿勢を示すことで、滞納の解消を目指します。

③長野県との徴収事務の連携

長野県県税徴収対策室と飯山市税務課が協働して、高額および困難事例の滞納整理を強化します。※市税の納付等のご相談がございましたら、お気軽に税務課までお願いします。

お問い合わせ

税務課課税係

☎3111

内線163、166

年末に向け納め忘れの税はありませんか 12月は年末収納強化月間です

12月は年末収納強化月間として、未納者のお宅に市職員が訪問させていただくことがあります。

納め忘れがないよう、もう一度、納付書や振替口座の残額をご確認ください。納期限内の納税に一層のご協力をよろしくお願いいたします。



日曜納税窓口のご案内

毎月最終日曜日、市役所の日曜納税窓口で納税ができます。11月、12月の予定は次のとおりです。

◇日曜窓口開設日（11月・12月）
11月29日、12月27日
◇場所 市役所1階 税務課窓口
◇時間 午前8時30分～午後5時

新しい教育委員の体制

飯山市教育委員会の新しい体制が次のとおり決定しました。（敬称略）

委員長 長瀬 哲
委員 坂東里夏、山崎秀美
教育長 土屋 稔

（退任：小山元彦）

ステーション利用の際は届出が必要

事業活動で出たごみは自己処理が原則です

市内の一般家庭から排出されるごみは市が処理を行います。事業活動に伴い発生するごみは「自己処理」が原則となっています。

事業者の皆さんが「ごみステーション」「資源物回収ステーション」を利用する場合は、市へ届出が必要です。届出が無い場合はご利用いただけません。

詳しくは市民環境課へお問い合わせください。

お問い合わせ

市民環境課生活環境係

☎3111

内線191、192



●事業者のごみの自己処理方法

◇市内の一般廃棄物収集運搬業者に処理を依頼する
◇エコパーク寒川へ直接搬入する（継続的に搬入する場合は別途手続が必要となります）

●事業者がごみステーション等を利用する際の届出方法

市民環境課へ「事業系一般廃棄物処理依頼届」を提出してください。処理手数料は排出量に基づいて算定します。なお利用する「ごみステーション」「資源物回収ステーション」を管理する区の詳細を得ていただく必要があります。

※ごみの排出量や種類によってはご利用いただけない場合があります。

スキーが結んだ縁は今年35周年

飯山市・大阪市

スポーツ交流スキー姉妹都市提携

関西の中心都市ともいえる大都市大阪市と豊かな自然資源に恵まれた飯山市。スキーを柱として、両市の長所を生かし交流を進めていこうと、昭和49年12月6日、「飯山市・大阪市スポーツ交流スキー姉妹都市」の調印が大阪市で行われました。

当時の市長である春日佳一飯山市長と大島靖大阪市長が調印すると、飯山市からは「スキー姉妹都市記念」と書かれたスキーが、大阪

市からは絵画がそれぞれ贈られ、両市長による固い握手が交わされました。

以来、飯山市・大阪市の市民が相互に訪問するなどして行われてきた活発な交流は、今年で35周年を迎えました。

スキーを中心に行われてきたさまざまな交流

スキーが結びつけた両市の交流は、グレンデ外でも「青年交歓キャンプ」「都市と農村を結ぶ若人の集い」など、広範な交流が行われ

昭和49年12月6日

飯山市・大阪市 スポーツ交流スキー姉妹都市宣言

飯山市と大阪市とはスキーを中心として親密な交流をはかりもって両市の友好・親善を深めるとともに広く市民の健康と福祉を増進し両市のよりいっそうの繁栄を期することを念願してここにスポーツ交流スキー姉妹として提携することを宣言する



◎昭和49年12月6日、宣言書に署名し握手を交わす当時の市長、春日飯山市長（左から3人目）と大島大阪市長。



△今年3月、みゆき野吹奏楽団と飯山北高生が「城東区吹奏楽フェスティバル」に参加。盛大な歓迎式も行われました。

ました。時代の流れと共に、交流の機会は減ってきていますが、「大阪市民スキー」「大阪市身体障害者スキー教室」などのスキーイベントは毎年開催。平成20年度までに延べ1万人を超える方が参加しています。近年では大阪市「城東区吹奏楽フェスティバル」に招待され飯山の皆さんが演奏を披露するなど、再び活発な交流が行われています。

これからの交流は・・・

スキー人口が減少していく中でも、飯山にとってなくてはならない大阪市との交流は、今後も更に盛り上げていきたいところ。

先日、飯山市の足立副市長、佐藤市議会議長をはじめとした関係者が大阪市長、奥野副議長などの関係

『大阪市』ってどんなところ？

今年4月に市制120周年を迎えた、人口約262万8000人（平成17年国勢調査）の関西を代表する大都市。現在は「大都市、そしていちばん住みたいまちへ」を政策目標に掲げ、市民と行政が一緒になって大阪を元気にするための取り組みが行われています。



大坂城

今年8月22日から10月12日までは、『水都大阪2009』が開催され、世界に水都大阪の魅力を発信しました。

○飯山市と比べてみよう

	大阪市	飯山市
市の面積	222.30 km ²	202.32 km ²
人口 (H17国勢調査)	262万8811人	2万4960人
市の花	サクラ、パンジー	ユキツバキ



△大阪市森下副市長らと行われた懇談。今後の更なる交流発展が確認されました。



△35周年を記念し、10月には大阪市民環境課生活環境係が、飯山の観光・特産などを紹介するコーナーが設けられました。

者と、交流の状況や今後の交流のあり方などについて懇談が行われました。その中で両市は、今後はスキーだけでなくグリーン期の交流などの更なる「市民」を

中心とした事業を展開していくことなどを確認。今後ともこの姉妹都市交流がますます発展するよう、お互い連携することについて堅い約束が交わされました。